

AUG.
27th
2025

17:30-19:00

tip



Institute of
SCIENCE TOKYO

会場：東京科学大学

湯島キャンパス



ヘルステックデザインラボ

(病院A棟B1)



今、大学で“**ホット**”な研究プロジェクトを
聞きに来ませんか？学内・企業・スタートアップ企業と
コミュニケーションが図れる交流会も！
コーヒーと軽食を準備してお待ちしています！

対象：東京科学大学研究者、学生、企業

ポスターセッション発表者の紹介



青山 慧(あおやま さとる)・臨床腫瘍学分野(がんゲノム診療科)・助教

「あらゆるがんの治療のための、あたらしい細胞免疫療法の研究開発」

2人にひとりががんとなり、4人にひとりががんで命を落とす現在において、がんを根治する治療法の開発は重要な課題である。近年、がんを選択的に攻撃するよう改変した免疫細胞を用いた強力な治療法であるCAR-T細胞療法が登場したが、適応は一部の血液がんに限られている。我々はあらゆるがんはこの強力な治療法を提供することを目標とし、安全性と有効性の高いあたらしいCAR-T細胞療法の研究開発を行っている。

土田 優美(つちだ ゆみ) 医歯学総合研究科 口腔デジタルプロセス学分野・助教

「歯科医療分野におけるデジタル技術の臨床応用と教育革新」

歯科技工士として教育・研究を行っており、3Dスキャンや3Dプリンティング、AIを活用した歯科医療技術の開発・応用に取り組んでいます。フェイススキャナの臨床応用、補綴装置3D造形の最適化、自動化による効率化、さらにはAIによる教育評価法の開発など、医工連携の視点から多岐にわたる研究を推進しています。



松村 茉由子(まつむら まゆこ) 咬合機能健康科学分野/歯科アレルギー外来 特任助教

「歯科治療によるアレルギーに悩まない材料と検査方法の研究」

歯科治療で使用する金属や材料は、人工関節やペースメーカーと同じく、身体に留置される生体材料であり、高い生体親和性を要求される。当グループでは、アレルギーを有する患者様へ使用可能な歯科用材料の特性調査と開発協力、現行実施されるパッチテストをはじめとした侵襲性の高い検査に代わる簡便で画一的な検査方法を検討し、より安全な歯科医療を患者様に提供できるような環境を作ることを目標に研究活動を行っている

土屋 純一(つちや じゅんいち) 放射線診断科 准教授

「画像診断を中心とした、他科との共同研究、産学連携を推進」

Deep LearningでPET画像のノイズを除去し、画質の向上を行い、この臨床応用をしています。また、FDG以外の新たなトレーサーにより、膜合成や核酸代謝、低酸素環境など、様々な生体機能を画像化し、病態理解を深めます。さらに、従来のFDG-PETではテクスチャ解析を通じて、より多くの情報を抽出し、予後予測などへの応用を目指しています。画像診断の専門知識を活かし、他科との共同研究も積極的に推進しています。



ヘルスサイエンスR&Dセンター(HeRD) 副センター長/准教授 石黒 めぐみ

「ヘルスサイエンスR&Dセンター(HeRD)の紹介」

HeRDでは、ヒトを対象とした臨床試験、治験を実施するにあたっての様々なサポートを行っています。未承認・適応外の医薬品・医療機器等を評価する<特定臨床研究>、承認申請を目的とした<治験>では、特有の手続きや各種の契約なども必要です。専門のスタッフがこれらをトータルにお手伝いすることで、スピード・質の向上、先生方の負担軽減につながります。東京科学大学で臨床研究を行いたい企業からのご相談もお待ちしております。

企業の紹介

Wednesday 4 Meetupの特徴は**企業に出会えること!**



OptHubは、学术界で培われた最適化をはじめとするAI技術を、実際の現場で活用可能な形で産業界へ還元することを目的としたスタートアップです。東京科学大学 情報理工学院 小野功研究室から生まれ、東京科学大発認定ベンチャーにも選定されています。これまでに製造業、運送業、インフラ、アミューズメント、印刷業など、幅広い業種へ現場導入可能な最適化AIを提供してきました。近年は東京科学大学医歯学系との連携を強化し、医療分野における実運用プロジェクトも進行中です。

代表取締役CEO
三嶋 隆史 氏



出会いたい研究者

医療 × IT(特にAIや最適化分野)に取り組まれている

研究者の方を探しています。特に、治療計画、薬剤の分子構造の最適化に

取り組まれている研究者

お申込みはこちら

※学内の方は飛び込み参加もOK

企業・学外の方は事前登録をお願いします

